

SGLT2 阻害薬を服用している患者様へ



○お薬の効果について

余分な糖を尿と一緒に体から出して血糖値を下げるお薬です。
血糖値の他にも血圧を下げる、体重を減らすといった多くの効果を持つお薬です。

○副作用について

以下に主な副作用とその自覚症状の一例をお示します。当てはまる症状がある場合は、すぐに病院を受診してください。

- ① 尿路感染症・性器感染症：陰部掻痒感、排尿時の痛み、残尿感 など
- ② 脱水：めまい、ふらつき、手足の動かしにくさ、しゃべりにくさ など
(脱水がきっかけで起こり得る他の病気の症状も含まれます)
- ③ ケトアシドーシス：全身倦怠感、嘔気、嘔吐、腹痛 など
- ④ 皮膚症状：皮膚の赤み、湿疹、かゆみ など

○副作用を予防するために

以下の注意点を守っていただくことにより、副作用の予防につながります。

① 尿路感染症・性器感染症

- ・我慢せずこまめにトイレに行く
- ・陰部の清潔を保つよう心がける
- ・水分をしっかり摂る(※1)

② 脱水

- ・水分をしっかり摂る(※1)

③ ケトアシドーシス

- ・極端な糖質制限はせず、バランスの良い食事を心がける
- ・発熱や下痢など体調不良の際は SGLT2 阻害薬の服用を中止する(※2)
- ・インスリンを打っている方は、ご自身の判断で減量や中止をしない

★特に 1 型糖尿病の方は注意が必要です！インスリンポンプを使用中の方はルートトラブルにも注意してください。体調不良の際は、速やかに病院を受診してください。



※1.水分摂取について

1 日に普段より 500mL 程度多い水分摂取(水またはお茶)を心がけましょう。
トイレの後にコップ 1 杯の水分を摂るのも良いです。

お薬を飲み始めて3ヶ月の間は特に意識して水分を摂りましょう。

★心臓や腎臓が悪いと言われている方…水分制限を指示されている方は、その範囲内で可能な限りの水分を摂りましょう。理想体重を指示されている方は、毎日体重を測り、理想体重を超えない範囲で水分を摂りましょう。

※2.発熱や下痢のあるとき

食事が摂れていても、SGLT2 阻害薬の服用を中止してください。



体調が悪いとき(シックデイ)



○シックデイとは

風邪や下痢などのほかの病気になったとき、または食欲不振のため食事ができないときをシックデイといいます。このような体調の悪いときには血糖コントロールが乱れやすくなりますので、早い段階から適切に対処することが大切です。

○シックデイ対応の基本

- ・体温や血糖値など、自己チェックのできるものはこまめにチェックしてください。
- ・食べ物は口当たりがよく消化のいいもの(おかゆ、スープ、うどんなど)を選び、水分と糖質の補給を心がけましょう。
- ・症状が軽い場合でも無理をせず、体を温かくして安静にしましょう。



○シックデイのお薬調整

飲み薬に関しては、以下の表を参考にしてください。

注射剤を使用している方は、主治医にあらかじめ、どのように対応したら良いか確認しておきましょう。

内服中	分類	薬の名前	主食量半分以上	主食量半分未満
	SU薬		中止	中止
	速効型		内服	中止
	α-GI		内服	中止
	ビグアナイド		中止	中止
	チアソリジン		内服	中止
	DPP-4 阻害薬		内服	中止
	SGLT2 阻害薬		中止	中止
	GLP-1 受容体作動薬		内服	中止
	イメグリミン		内服	中止

○こんな時は病院へ

- ・下痢や嘔吐で食事が全くとれない時
- ・38℃以上の高熱が続くとき
- ・血糖値が300～350mg/dLを超える時
- ・だんだん症状が悪化する時
- ・その他、ご自身で判断がつかない時

※緊急連絡先：052-551-6121（代表） 内線にて内科外来へ
夜間や休日にも救急外来にて対応いたします。



低血糖について



○低血糖とは

血液中の糖分が少なくなりすぎた状態で、具体的には血糖値が70mg/dL未満になったときのことを指します。患者様自身が低血糖に気付かないことや、重症の場合は意識がもうろうとしてしまうこともありますので、家族やまわりの方も一緒に注意してください。

○低血糖になりやすいとき

- ・食事…食事が遅れた時や、食事量・糖質が少ない時、アルコールを飲んだ時
- ・運動…いつもより長く運動した時や、食事前に運動した時
- ・薬……薬の飲み間違いや、インスリンの打ち間違いをした時

→このような状況を避けることが、低血糖の予防につながります。

○低血糖の症状

- ・冷や汗
- ・脱力感
- ・動悸
- ・手足のふるえ
- ・頭痛
- ・目のかすみ
- ・強い空腹感
- ・眠気(生あくび)
- ・意識がもうろうとする
- ・異常な行動
- ・けいれん



○低血糖が起こったら

可能であれば血糖測定を行い、すぐに糖分を補給することが必要です。最も効果が速いのはブドウ糖です。

処方されたブドウ糖(10g)や、ブドウ糖を含む飲料水(例:スポーツドリンクなどをコップに軽く1杯程度)を速やかに摂取してください。

グルコバイやベイスン、セイブル、グルベスを服用している場合には、砂糖などではなく必ずブドウ糖を補給するようにしてください。(薬が糖の吸収を遅らせてしまうため、ブドウ糖でないとなかなか効果が得られません)

15分ほどたっても改善しない場合は、もう一度同じ対応をしてください。

